

# 令和3年度橿原市一般廃棄物処理事業（報告）

令和3年度の橿原市一般廃棄物処理事業について、以下のとおり報告します。

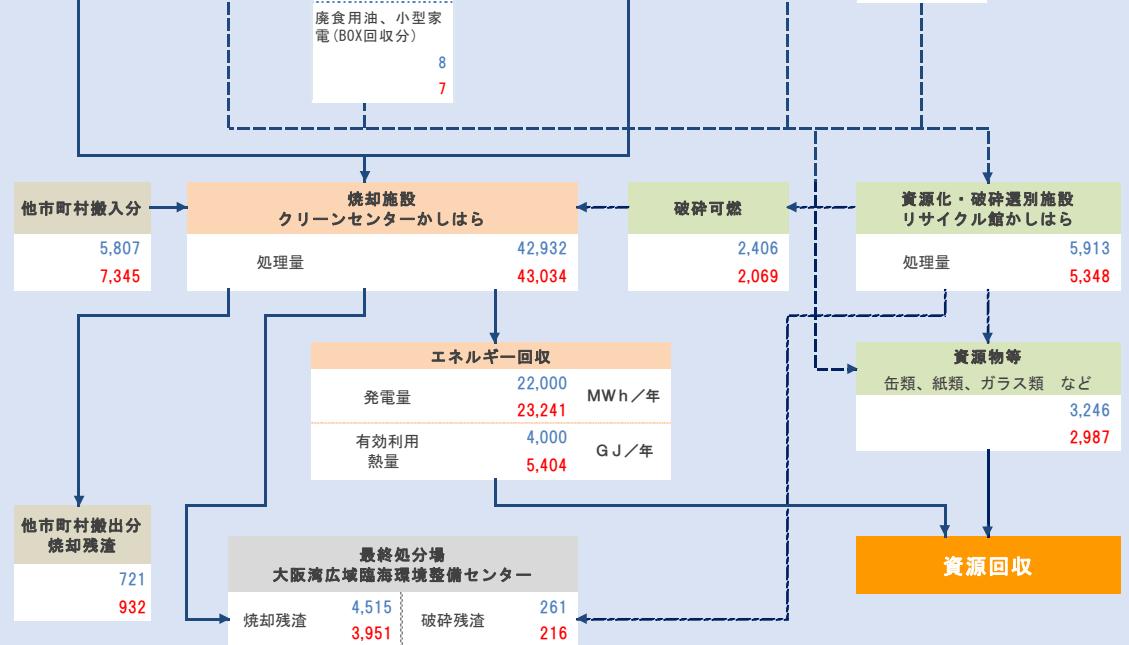
## 1. 処理状況

本市の令和3年度における廃棄物の排出量・処理量は以下のとおりとなりました。  
 家庭生活から排出された廃棄物と、事業に伴って排出された廃棄物を合わせた全体の排出量（総排出量）は40,775tであり、これは年度当初に策定した実施計画の計画量と比べ、約1,890t下回る結果となりました。

廃棄物の種類別に排出量の経年変化を見ると、令和3年度は令和2年度と比べると総排出量では約940t減少しました。  
 総排出量をその年度の人口と日数で除した値（1日一人あたりのごみ排出量）は、令和3年度は929g/人・日となり、令和2年度と比べると14g減少し、全国平均（901g/人・日）と比べると28g上回る結果となりました。

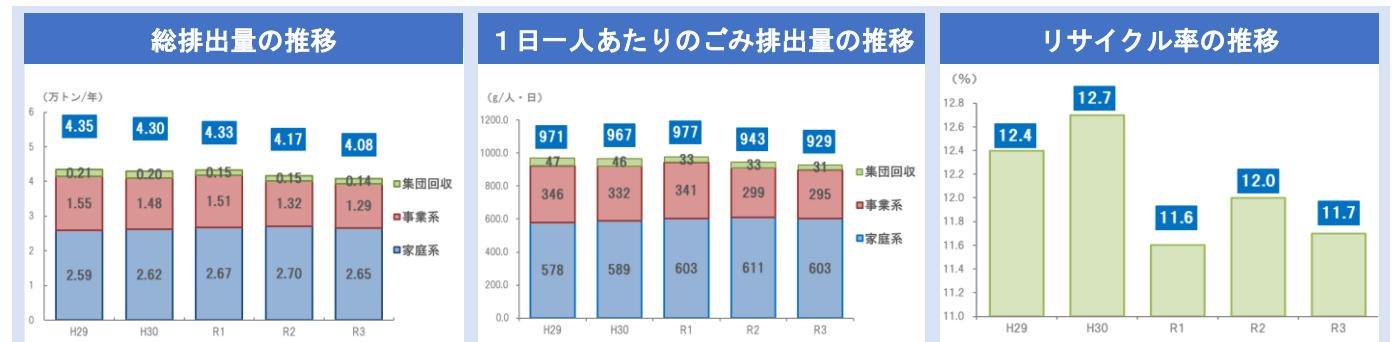
### 令和3年度における廃棄物排出量の計画量と実績量の比較

総排出量							
計画量				42,665 t			
実績量				40,775 t			
家庭系廃棄物				事業系一般廃棄物			
28,595				14,070			
27,836				12,939			
可燃ごみ	不燃物、粗大ごみ	資源ごみ	集団回収	可燃ごみ	不燃物、粗大ごみ	資源ごみ	食品リサイクル
21,356	3,141	2,626	1,472	13,363	128	18	561
21,179	2,679	2,607	1,372	12,441	56	13	429
収集	可燃性粗大	カン・ビン		可燃性粗大	カン・ビン		
20,945	1,959	982		56	5		
20,811	1,745	1,027		35	3		
持込	不燃物 不燃性粗大	ペットボトル・プラスチック ペットボトル		不燃物 不燃性粗大	ペットボトル・プラスチック ペットボトル		
411	1,149	152		72	1		
368	902	148		22	1		
	有害物	新聞、雑誌、 ダンボール		新聞、雑誌、 ダンボール			
	33	1,484		12			
	32	1,424		10			
	廃食用油、小型家電 (BOX回収分)						
	8						
	7						



○各項目の数値は四捨五入しており、総数と個々の値の合計は一致しないことがあります。

### 廃棄物種類別の排出量の経年変化（平成29年度～令和3年度）



### 1日一人あたりのごみ排出量の全国平均との比較

	家庭系	事業系	集団回収	全体
全国*	613	252	36	901
橿原市	603	295	31	929
差（橿原市-全国）	-10	+43	-5	+28

\*全国の数値は令和2年度一般廃棄物処理事業実態調査結果より引用

## 2. 施策の進捗状況

### (1) 排出抑制・再使用

基本方針： 排出抑制及び再使用を優先した3Rの推進

#### 施策1 3R普及啓発事業

3Rに関する有用な情報を適切なタイミングで市民に提供します。処理施設の見学受入や出前講座の実施、不用品の還元イベントや各種教室等を開催し、環境に関する学習機会を提供します。

	R1	R2	R3
見学受入、出前講座(団体)	42	4	26
リサイクルフェア等参加人数(人)	3,435	1,022	872
ごみ分別アプリDL累計数(件)	6,243	11,370	16,377

#### 施策2 処理手数料制度運用事業

ごみ処理費用の一部を排出者の負担とします。家庭系の可燃ごみに係る処理手数料は、有料の指定ごみ袋制度を運用します。

	R1	R2	R3
ごみ処理手数料収入(千円)	374,104	344,250	350,112
内、ごみ袋販売収入(千円)	183,313	174,102	181,597
年間ごみ袋供給枚数(万枚/年)	530	498	513

#### 施策3 生ごみ減量化事業

減量化に関する手法や資源化に関する情報を発信し、生ごみの発生抑制とリサイクルルートへの誘導を図ります。市関連施設においても、生ごみ減量・リサイクルに取り組みます。

	R1	R2	R3
食品リサイクル量(トン)	553	424	429
生ごみ処理機器購入補助(件)	10	14	23

### (2) 再生利用

基本方針： 有用資源の回収強化及び循環利用の促進

#### 施策4 ごみ搬入受付事業

ごみ搬入時に、分別方法、持込方法、適正処理方法を案内するとともに、資源化促進の働きかけを行います。

	R1	R2	R3
クリーンセンター受付回数(回)	52,034	52,114	51,417
リサイクル館受付回数(回)	40,887	41,508	41,379

#### 施策5 資源物処理事業

搬入された不燃ごみ及び資源物は、市処理施設で前処理を行い、適正なりサイクルルートと財源の確保に努めます。資源物の回収強化に向けた広報啓発の充実を図ります。

	R1	R2	R3
資源回収量(トン)	3,009	3,124	2,987
資源化売却益(千円)	41,246	36,334	77,188

#### 施策6 集団回収促進事業

多くの市民が活動に参加できるような環境づくりを進めます。活動の普及促進に努め、併せて紙資源の循環強化を図ります。回収した資源物の重量に応じて市から報償金を交付し、活動を支援します。

	R1	R2	R3
登録団体数(団体)	221	221	221
資源物集団回収量(トン)	1,463	1,476	1,372

### (3) 適正処理

基本方針： 効率的で適正な処理システムの構築

#### 施策7 廃棄物等収集事業

地域特性を踏まえ、効率的にごみを収集します。ごみ排出時における利便性を高めるため、「ふれあい収集」や「リクエスト収集」を実施します。

	R1	R2	R3
可燃ごみ収集量(トン)	21,009	20,964	20,811
不燃物・粗大ごみ収集量(トン)	1,921	2,006	1,680
資源ごみ収集量(トン)	2,344	2,523	2,504

#### 施策8 一般廃棄物収集運搬業許可事業

許可制度の運用に当たっては、廃棄物処理法に基づき、的確な審査を行い、適正に運用します。搬入物検査を実施し、適正処理を確認します。

	R1	R2	R3
許可業者数(社)	29	29	29
搬入物検査違反率(%)	3	0	13

#### 施策9 クリーンセンターかしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。焼却余熱を利用した発電等によりエネルギーの有効活用を推進します。

(クリーンセンターかしはら)	R1	R2	R3
処理量(トン)	43,646	42,170	43,034
突発故障による休止日数(日)	0	0	0
発電電力量(MWh)	22,323	22,874	23,241

#### 施策10 リサイクル館かしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。3Rの啓発拠点としての役割を強化します。

(リサイクル館かしはら)	R1	R2	R3
処理量(トン)	5,507	5,777	5,348
突発故障による休止日数(日)	0	0	0

#### 施策11 不法投棄対策事業

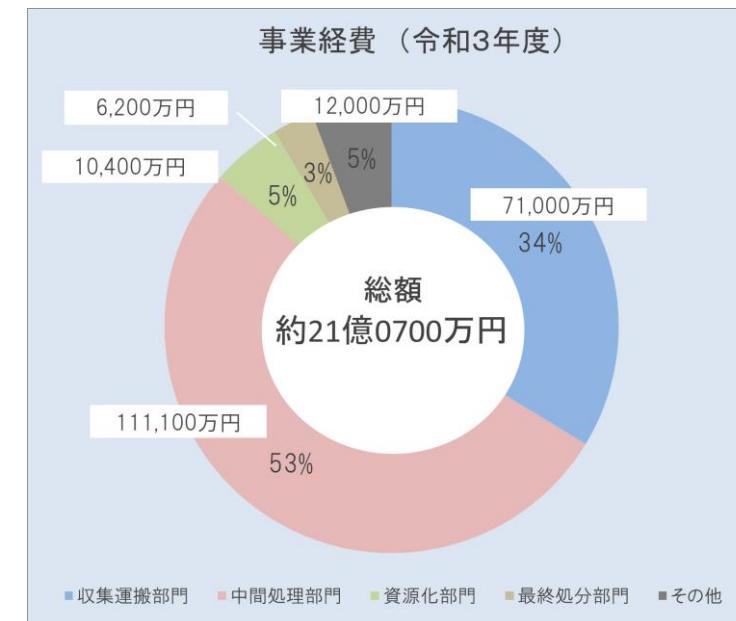
巡回パトロールの実施や防止看板の設置等を行い、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。地域の力を活用した取組を推進します。

	R1	R2	R3
不法投棄件数(件)	202	187	97
不法投棄防止看板配布枚数(枚)	10	13	16

## 3. 事業経費(し尿処理事業を除く)

令和3年度一般廃棄物処理事業経費

約 21 億 0, 700 万円/年  
(総排出量 40,775t → 1tあたり約 51,700円)



(R元年度:約21億5400万円、R2年度:約21億4700万円)

#### 収集運搬部門

・廃棄物を収集し、処理施設へ運搬する経費  
約 7 億 1, 000 万円/年  
(収集運搬量24,995t → 1tあたり約28,400円)

#### 中間処理部門

・焼却処理、破砕処理に要する経費  
約 11 億 1, 100 万円/年  
(処理量45,776t → 1tあたり約24,270円)

#### 資源化部門

・資源物の選別・圧縮・保管に要する経費  
約 1 億 400 万円/年  
(資源化量2,613t → 1tあたり約39,800円)

#### 最終処分部門

・焼却灰や不燃残渣等の埋立処分に要する経費  
約 6, 200 万円/年  
(処分量4,167t → 1tあたり約14,900円)